



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 359  
February  
2023

## トピックス

### お知らせ

アジア防災会議2022のご案内

### 国際会議への参加

第5回国土・地域計画プラットフォーム (5th SPP) への参加

### ADRC客員研究員レポート

📍 タイ・ミン・フォン (ベトナム)

📍 ソフィータ・タンヤラクメタ (タイ)

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
<https://www.adrc.asia>

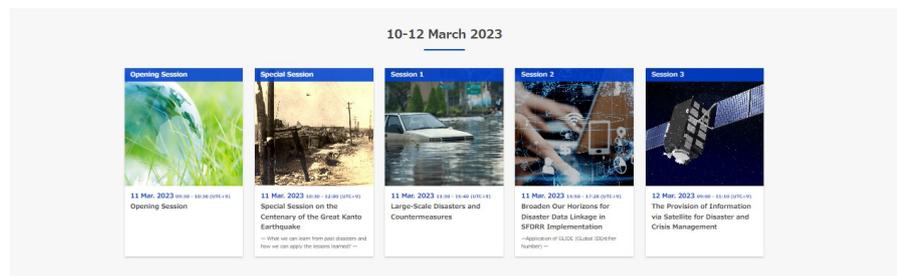
© ADRC 2023

## ●お知らせ

### アジア防災会議2022のご案内

前号でお知らせの通り、ADRCは今年度のアジア防災会議2022 (ACDR2022) を、3年ぶりに対面とオンラインのハイブリッド方式で開催します。今回は、最新版のプログラムをお知らせ致します。本会議への対面もしくはオンライン参加ご希望の方は、以下のサイトから登録をお願い致します。

ACDR2022ウェブサイト：<https://acdr.adrc.asia/meeting/home/acdr2022>



ACDR2022のウェブサイト

### <日時>

2023年3月10日 (金) - 12日 (日)

\*10日の会合はメンバー国のみ、11日終日及び12日午前が一般公開セッション

### <会場>

仙台国際センター

住所：仙台市青葉区青葉山

<http://www.aobayama.jp/>

<https://goo.gl/maps/wLDr6wLoKBHFN18u5>

### <プログラム> (2023年2月28日現在)

2023年3月11日 (土)

開会

## 続き

「関東大震災100年スペシャルセッション ～過去の災害から学び教訓をどう生かすか～」

パネリスト：ADRCセンター長／早稲田大学理工学術院 名誉教授 濱田 政則

ADRC会長／東京大学 名誉教授 伊藤 滋

早稲田大学理工学術院 名誉教授 長谷見 雄二

常葉大学社会環境学部 教授 重川 希志依

司 会：NHK元解説委員 吉村 秀實

### セッション1：大規模災害とその対策

- 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授 阪本真由美
- 太平洋共同体（SPC）災害コミュニティ・レジリエント・プログラム リテア・ビウコト（予定）
- 神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部 教授 荒島 千鶴
- パキスタン首相府国家防災庁（NDMA）防災部長 サリーム・シャザド・マリク
- ベトナム農業農村開発庁（MARD）防災総局（VNDMA）災害対応・復興局 副局長 レー・ミン・ニャット
- 中央アジア防災センター（CESDRR）センター長代行 シェリック・アウバキロ

### セッション2：仙台防災枠組の取組みにおけるデータ連携の拡大 -GLIDE (Global Identifier Number)の利用促進

- RobotSearch Software Inc. 取締役 フリオ・セルヘ
- 国連開発計画（UNDP）バンコク地域事務所災害リスク情報アプリケーション危機局 プログラムスペシャリスト（グローバル） ラジェシュ・シャルマ
- モンゴル国家非常事態庁（NEMA）リスク管理部 課長 デンベレニヤム・バサンスレン
- 韓国行政安全部国立防災研究所 主任研究員 チヒュン・リー
- 国連防災機関（UNDRR）ボン事務所 所長 アニメシュ・クマール
- ASEAN人道支援・防災調整センター（AHAセンター） 災害監視分析官 キース・パオロ C・ランディチョ
- ADRC主任研究員 塩見 有美

2023年3月12日（日）

### セッション3：衛星を活用した防災・危機管理情報の提供

- ADRC主任研究員／神戸大学客員准教授 ジェラルド・ポトゥタン
- 内閣府宇宙開発戦略推進事務局準天頂衛星システム戦略室 本江信夫 参事官補佐
- NTTデータ 郭 潤潔 GISエンジニア
- アジア航測株式会社社会基盤システム開発センター 技術部長 ハス・バートル
- フィジーからの専門家（予定）
- カンボジア国家防災委員会（NCDM） 主任技術官 ソチース・ソー

閉会

本会合の最新情報は、順次、上記ACDR2022のウェブサイトでも更新してまいります。多くの皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

## ●国際会議への参加

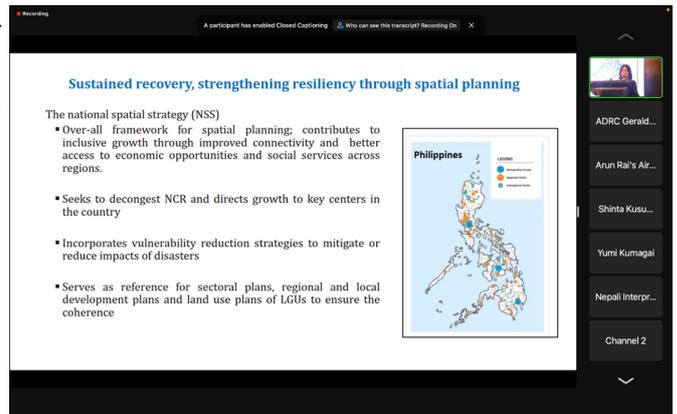
### 第5回国土・地域計画プラットフォーム（5th SPP）への参加

2023年2月2日～3日にネパールのカトマンズで、第5回国土・地域計画プラットフォーム（SPP）会合が開催され、自然災害の増加や気候変動による国土計画の課題への対応を中心に議論が行われました。ADRCは本会議にオンラインで参加しました。

国土計画は、無計画な開発や急激な都市開発に対抗するための不可欠なツールであるため、この計画実践は、交通、インフラ、住宅、景観、レクリエーションなどだけでなく、より多くの国土に対する需要の高まりという固有の課題に直面しています。そこで、第5回SPPでは、気候変動の中で、土地や天然資源の慎重な利用を確保するための国土計画をどのように策定し、実施するかに取り組みました。

セッション「気候変動適応のための国土計画と地域アプローチ」では、バングラデシュ、マレーシア、フィリピン、ウガンダの経験が紹介されました。自然災害の多いフィリピンでは、政府は国土計画の全体的な枠組みを採用し、次のような貢献をしています。1) 地域間の接続性を改善し、経済機会や社会サービスへのアクセスを向上させることで包括的な成長を実現する、2) 首都圏の混雑を緩和し、国内の主要都市に成長を誘導する、3) 災害の影響を緩和・軽減するために脆弱性削減戦略を取り入れる、4) 部門計画、地域・地方開発計画、地方政府の土地利用計画と国家枠組みを整合させ、一貫性を確保する、などです。

会議の詳細は、オンラインでアクセスできます：  
<https://www.spp-pr.com/conferences/5thMeeting/>



5th SPP

## ●ADRC客員研究員レポート

### タイ・ミン・フオン（ベトナム）

ADRC客員研究員としてベトナムから参りました、タイ・ミン・フオンと申します。現在、農業農村開発省ベトナム災害管理局（VNDMA）で、災害リスク管理と気候変動適応の専門家として働いています。2013年にケルン応用科学大学で水資源管理を中心とした技術・資源管理に関する科学修士号を、2007年に外国貿易大学でビジネス英語の学士号を取得しました。過去17年間、開発分野、特に水資源管理、農業・農村開発、災害リスク管理、気候変動適応の分野でキャリアを積み、コンサルタント、国内専門家、国内コーディネーター、開発プログラム・組織における政府専門家など、様々な役割を担ってきました。このような環境の中で、戦略的かつ結果重視のマネジメント、プランニング、参加型モニタリングと評価、政策対話の促進、コミュニケーション、情報管理などの実務経験を積んできました。

2018年からVNDMAに勤務しています。VNDMAは、ベトナムの災害対策における国の中心的な存在です。また、国家災害防止対策委員会の常設事務所でもあります。20年前に堤防管理・洪水制御局として発足したVNDMAの任務は、22種類ほどあるハザードをカバーするまでに広がりました。



## 続き

私はVNDMAの災害リスク管理と気候変動適応の専門家として、国際協力とコミュニティベースの災害リスク管理に積極的に取り組んでいます。災害リスク管理に関する国際的なドナーの資金提供によるプログラムやプロジェクトの調整を担当しています。また、意識向上、能力開発、コミュニケーション活動の実施も担当しています。この分野で17年の経験があり、地域社会が中心的な役割を果たし、十分な知識とスキルを身につけることで、災害による損害や損失を最小限に抑えることができると理解しています。

日本はベトナムと同様に災害の多い国ですが、近代的な技術、優れた統治、効果的な国際協力によって、災害に対する強い回復力があります。また、日本は災害リスクを軽減するためにコミュニティベースのアプローチを促進する「防コミモデル」で有名であることも学びました。

ADRCの客員研究員プログラムのおかげで、私は日本がどのように災害リスクに対処しているかを目の当たりにする機会を得ることができました。このプログラムの活動を通して、私はコミュニティベースの災害リスク管理に関する最新の知識、スキル、優良事例を得ることができました。日本での研修後、ベトナムに戻ったら、新しい知識を同僚と共有し、学んだことを自分の国で実践したいと思っています。

最後に、このプログラムを通して私をサポートしてくださっているADRCのスタッフの皆様へ深く感謝いたします。

## ソフィータ・タンヤラクメタ (タイ)

私の名前はソフィータ・タンヤラクメタで、ニックネームはボウ、つまり蝶ネクタイです。私はタイからADRCの客員研究員として来日しました。2015年から、国の防災・減災に関するあらゆる活動を担う中央政府機関である内務省の防災局（DDPM）で、計画・政策アナリストとして働いています。最初に勤務した研究・国際協力部では、災害リスク管理に関するASEAN協力、ASEAN防災緊急対応協定（AADMER）作業計画（特に予防・軽減に関する作業部会）を実施するため、ASEAN関係者とタイの関係機関の調整を担当しました。

4年間の研究・国際協力部での勤務を経て、現在はDDPMの防災・減災政策課に異動しました。国家リスク管理計画を策定・実施し、国家防災・減災委員会を運営し、国内の災害リスクを軽減させるチームの一員です。

私はADRC客員研究員プログラムに参加し、日本の防災や地域レベルの防災計画について学び、それをタイの災害リスク管理メカニズムに応用し、レジリエンスと持続可能性を高めたいと考えています。

最後に、このプログラムを通して私をサポートしてくださっているADRCのスタッフの皆様へ深く感謝いたします。



## 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。